

地域における福祉の推進（学校教育への協力・交流会）

知的に障害をもつ利用者との交流を通じ、児童に優しさや豊かな感性が育てばと思い、平成17年11月に最初の交流会が行われ、それ以降、運動会や剣道・太鼓教室などを通して交流が続いており、児童の福祉に対する理解促進の機会となっている。

社会福祉法人 **征峯会**

〒308-0862 茨城県筑西市小埜861

TEL：0296-25-0833 / FAX：0296-22-5973 / E-Mail：siratori@bz01.plala.or.jp

【法人の概要】

法人設立年：昭和61年11月

経営施設（数）：2施設

経営施設、事業（種別）：

障害者支援（知的）施設…1

・日中活動（生活介護事業／自立訓練事業／就労移行支援事業／日中一時支援事業）

・夜間（施設入所支援…1／共同生活援助…2／共同生活介護…4）

特別養護老人ホーム…1／デイサービス…1／

訪問入浴…1／訪問介護…1／居宅支援センター…1

【法人の理念・経営方針】

法人の理念…私たち征峯会職員は、お客様の笑顔のために、安心、安全、そして最高のサービスを追究し、まごころにあふれた地域社会の実現に貢献します。

基本方針

1. 私たちは、いかなる時も人権を尊重し、誠実な気持ちで従事します。
2. 私たちは、お客様のニーズを第一に考え、迅速かつ確実に行動します。
3. 私たちは、福祉のスペシャリストとして責任と誇りを持ち、自己研鑽に励みます。
4. 私たちは、愛する地域のために貢献し、地域と共に歩んでいきます。
5. 私たちは、高い志と勇気と情熱を持って、新たな地域の福祉資源を築き上げます。

実施施設の概要

施設名：ピアしらとり

施設種別：障害者支援（知的）施設

活動開始年：昭和63年11月

活動の頻度・時間：月4回、1回あたり2時間

活動の対象者：地域の小学生・幼児・住民

活動実施の背景、実施にいたった理由

「ピアしらとり」は、21年前に茨城県筑西市に知的障害者更生施設として開設、地域に開かれた施設を念頭に経営をしてきた。開設当初より地域交流を盛んに行い、夏は「納涼祭」秋には「しらとりまつり」そして、冬は「地域交流駅伝大会」と、地域住民との交流を深めてきた。また、近隣の駅や神社清掃を地域の団体と共に行い、また月1回施設独自でも神社清掃を続けている。平成15年、地域交流ホーム「あじさい」の建設と同時に「ふれあい太鼓教室」「ふれあい剣道教室」を開き、地域の小学生との交流も行うようになる。このような様々な交流を通じて、地域住民や小学校との信頼関係を築くことが出来た。そして、平成17年に地元の小学校より家庭的な問題で親から離れることの出来ない、小学5年生の児童のことで相談を受け、剣道教室をはじめ他方面からの協力をし、親子関係が改善されるなど成果が見られた。それから、小学校との交流が始まり、学校教育への協力が開始された。

実施内容

これまでの主な交流事業は以下の通りである。

平成17年11月	児童と利用者の最初の交流会実施。狙いとしては、知的に障害のある利用者との交流を通じ、児童に優しさや豊かな感性を育ててほしいと考えたため。
平成18年3月	開設当初から実施している「地域交流駅伝大会」に、小学校5年生のチームを招待し輪を広げた。
7月	交流が本格化
9月	地域住民と小学校の「合同運動会」において、高学年生と利用者職員が「よさこいソーラン」を一緒に踊り、交流が活発になる。踊りの指導には、当施設のよさこい愛好会の職員が小学校に出向き行った。
10月	当施設の「体育祭」に小学生を招待し、各種競技に利用者と一緒に参加してもらい交流を深める。

11月	当施設で11月に実施している「しらとりまつり」には、児童がボランティアとして、模擬店の手伝いに積極的に参加するようになる。同月に行われた「交流会」では、児童達自身で内容やゲームを計画し交流の幅も広がった。
平成19年3月	「地域交流駅伝大会」には、前年を上回る数の児童が参加して盛大に行われた。

今年度に入り3年生・6年生との交流も行う。また、学校の太鼓クラブの講師として当施設の特徴である「しらとり太鼓」の職員が、月2回学校に出向くなど交流が続いている。

活動効果

活動効果として第一に、親の傍を離れることの出来なかった児童が「ふれあい剣道教室」に参加し、積極的に学校生活を送れるようになったことである。これは、いろいろな障害のある利用者と交流したことが、この児童に良い影響を与えた様に思われる。さらに、小学校の道徳の授業で交流会のことを取り上げ、その他の児童達にも良い影響を与えることが出来たと小学校より感謝される。そして、まだ施設を知らない地域の方にとっては、障害者に対する偏見が交流を通してなくなり、施設の活動に好意的になったことである。また、職員は、地域の方に福祉を理解してもらうことの重要性を感じ、積極的に活動をしようという意識が強まった。そして、利用者は子供が大好きで、小学生との交流を心待ちにしている現在である。

今後の課題

地域の未来を担う子供達に、知的に障害がある利用者を理解してもらい、共に生きて行くために、交流会や勉強会を実施して行く必要がある。そのためには、学校教育への協力も今後継続していく必要がある。そして、子供達と障害者の交流は子供達の精神的な発達に必要なことであると、地域に向けて発信していく必要がある。また、「ピアしらとり」についての理解を、地域の人々に深めてもらうために、施設を開放

してより多くの方に来ていただき、そして利用してもらう。さらに、知的に障害がある利用者の才能を追求し、利用者の個性を地域に向けていかに伝えられるかが今後の課題である。

主な経費や財源の内訳（年間あたり）

<主 な 経 費>	<概算額>
納涼祭	¥250,000円
体育祭	¥190,000円
しらとりまつり	¥1,500,000円
剣道教室・太鼓教室	¥250,000円
交流会	¥12,000円
地域交流駅伝大会	¥35,000円
<合 計>	¥2,237,000円

<主 な 財 源>	<概算額>
施設負担額	¥1,990,000
利用者負担額(剣道教室・太鼓教室月謝 1人1,000円)	¥247,000
<合 計>	¥2,237,000

